

## 多自然川づくり取り組み事例

タイトル：虫野頭首工改築に伴う魚道設置		
水系/河川名：信濃川(魚野川)/三用川	河川分類：中小河川	
河川の流域面積：20km <sup>2</sup>	整備計画流量：160m <sup>3</sup> /s(W=1/30)	セグメント：0
事業：河川改修	事業開始年度 平成30年度	
目標設定：定量的	段階：D(実施・施工時)	
課題・目的(主な)：縦断的連続性の保全・再生・創出		
工法(主な)：魚道、落差工、帯工等の整備		
配慮事項(主な)：歴史・文化への配慮		

## 背景・課題、目標設定

## 【背景・事業概要】

破堤したことを受け、推進費により緊急的に河川改修(河道掘削、堰の改築)を行うことで早期に流下能力を向上させ、再度災害防止を図るもの。

## 【課題】

- ・河道断面の確保にあたり、取水堰及び落差工の完成が急務。
- ・河川内を横断する構造物により魚などの遡上を妨げない。(生態系の保護の観点)

## 【当初設計に対する照査結果】

落差工に使用する魚道ブロックの越流部と非越流部の詳細が未決定であり、その選定・設置にあたっては、関係者間での協議を要する。

## 取り組み内容・対策例

## 【行政・施工業者・漁業協同組合の三者で現地踏査】

ブロックの選定・設置に関して、

- ・求められる機能
- ・水生生物の遡上のし易さ

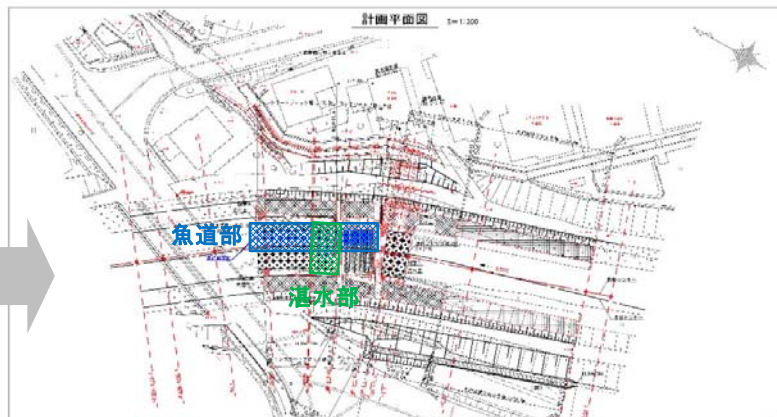
などを考慮し検討。

## 【当初設計】



## 【漁協の意見】

- ・滞筋を踏まえた魚道の確保
- ・垂直壁が魚道を分断しないよう配慮
- ・落差を上る魚が手前で休める仕掛け



## 【最終決定案】

- ・右岸側に3m幅の魚道を設ける。
- ・魚道部の垂直壁の天端を下げた構造に変更。
- ・越流部の直下流に落水部を設ける(根固めブロックの天端を下げる)

## モニタリング結果、アピールポイント、今後の対応方針

## 【稚魚の放流】

当該河川の最下流にて、伊米ヶ崎小学校全児童の協力のもと、施工業者・漁業協同組合の共催でヤマメの稚魚4000尾を放流しました。



## 完成後の状況(今夏撮影)



## 備考

問い合わせ先 新潟県魚沼地域振興局地域整備部治水課

電話番号 025-792-5895